



青葉台小・桐蔭・慶応大

田中 ゆき

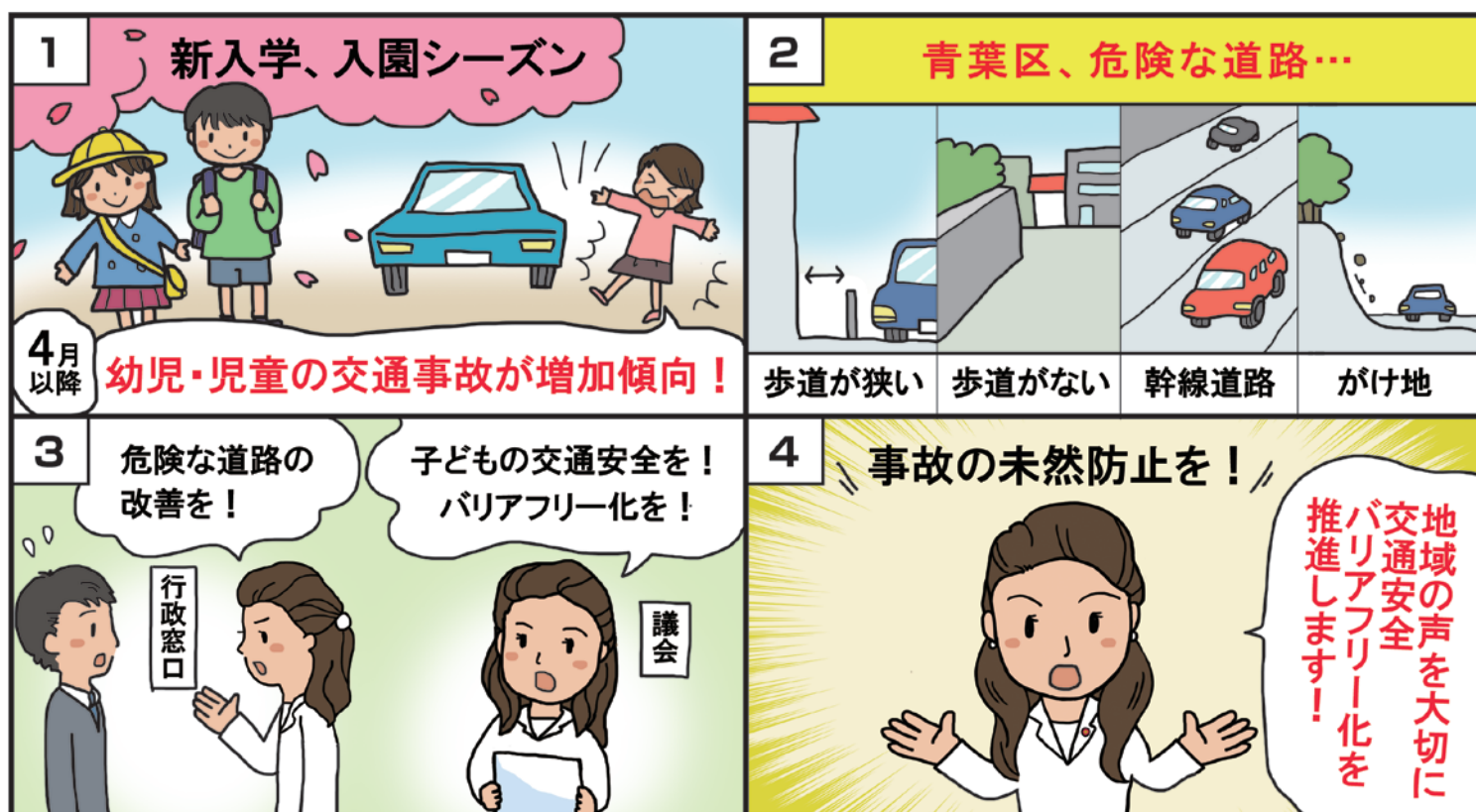
命と場所を守る
市政を！

プロフィール

- 青葉区育ち、青葉台小学校
- 桐蔭学園高等学校／桐蔭会（監事）
- 慶應義塾大学商学部／体育会ボート部
- 人間総合科学大学大学院
- 日本航空CA（客室乗務員）
- 看護師（病院・企業・学校・保育・地域包括）
- 桐蔭横浜大学保健室
- 衆議院議員江田けんじ秘書
- 所属委員会（常任）温暖化対策・環境創造・資源循環委員会（特別）郊外部再生・活性化特別委員会（副委員長）

Vol.23

安心安全な歩行空間の確保を！



事故の未然防止を！

子ども達が新入学や入園、進級を迎える4月以降、幼児・児童の交通事故が増加傾向となります。青葉区には、歩道が狭い道路や交通量の多い幹線道路、がけ地に面した道路など、危険な道路があります。また、段差の解消など、バリアフリー化も必要な箇所があります。事故は未然に防ぐことが重要です。今後も地域の声を行政や議会に届け、交通安全を推進して参ります！



国・県・市が連携した交通安全推進を！

青葉区には、国道 246 号線のように国が管理する道路、その他、県や市が管理する道路があります。路面標示も横断歩道や「止まれ」は県警が管理、「スクールゾーン」や「スピード落とせ」は市が管理しています。危険な道路等を改善し、交通安全を推進するには、国・県・市の連携が不可欠です。国・県・市が連携した交通安全推進を目指します！

田中ゆきの「交通安全推進」施策

- 地域（自治会、町内会等）と行政との連携強化
- 行政間（市・県・国）の横断的な連携の強化
- スクールゾーン協議会へのヒアリング機会の充実
- 地域特性に合った交通安全教室の実施
- 地域交通安全に関する区民意見募集の実施
- 道路損傷通報システムの利活用推進

内閣府による子どもの交通安全施策

令和 4 年春の全国交通安全運動推進要綱（内閣府）では、全国運動重点に「子どもを始めとする歩行者の安全確保」が掲げられています。幼児・児童の死者、重傷者は歩行中の割合が高く、特に入園や入学、進級を迎える 4 月以降に幼児・児童の歩行中の交通事故が増加する傾向にあるとしています。危険予知力が未熟な子ども達を交通事故から守るには、子ども達の目線に立って、交通安全施策を推進していくことが重要です。

青葉区の子どもの交通事故の特徴と対策

青葉警察署管内の小学生の交通事故の特徴として、「自転車の一時的停止（乗用車と横断歩道を走行する自転車が衝突する事故）」「飛び出し」「右側通行」などが挙げられています。対策として、子ども達と一緒に通学路を歩き、安全確認が必要な場所を見つけ、繰り返し安全な通行方法を教えることが大切です。また、焦りや不安は事故の原因にもなるため、出かける前に叱ったり、焦らせないように配慮しましょう。

地域と行政の連携による交通安全推進を！

青葉区は自治会、町内会を中心とした安全パトロール等の地域活動が盛んな地域です。また、市では各小学校を中心に半径約 500m の範囲をスクールゾーンの対象とし、交通安全対策の必要性の高い地域を明確にして、路面標示や警戒標識等により、子ども達の交通事故防止に努めています。自治会や町内会、各小学校のスクールゾーン対策協議会と行政が連携し、地域全体の交通安全の推進をはかることが重要です。

道路損傷通報システムの利活用を！

横浜市道路損傷通報システムは、市民の皆さんが道路の穴ぼこ等の損傷を発見した際に、横浜市公式 LINE アカウントから、写真や位置情報を送信して通報できるシステムです。2021 年 5 月の運用開始以来、毎月 100 件以上の通報が寄せられています。私も実際に活用しましたが、修復の対応が迅速でした。また、私は 2021 年 12 月の議会で、本システムの利活用の推進を要望しました。



報告 1 未就学児のお散歩コースの点検を！

2019 年 5 月に、滋賀県大津市で園外活動中の保育園児に車が突入し、2 名の園児が亡くなる痛ましい事故が発生しました。事故後に実施した、横浜市の緊急点検の結果、安全対策の必要のある箇所が、市内に 350 か所以上あることが、明らかとなりました。私は 2020 年 2 月の議会で、子どもの目線に立った交通安全対策を、できる限り早期に対策を進めることを提言しました。その後、市は事故が多発している交差点等を抽出し、緊急点検を実施、さらに市民要望についても現地確認を行うなど、対策を講じました。

報告 2 区内バリアフリー化の推進を！

2016 年から始まった市が尾駅周辺地区のバリアフリー化工事完了を望む地域の声に応え、私は 2020 年 12 月の議会において、市へ早期完了を要望しました。その後、市は駅周辺のブロックをアスファルトに変更したり、段差解消などの駅前歩道の改修に着手し、2021 年 8 月末にはバリアフリー化工事がほぼ完了しました。また、国道 246 号に関して、江田駅東側から東京方面の約 1 km の区間は、歩道幅が 1 m 程度しかない等、歩行に危険が伴う箇所があり、管理者である国に整備の働きかけをするよう強く要望しました。現在、国は拡張工事等の検討を進めています。

議会報告

